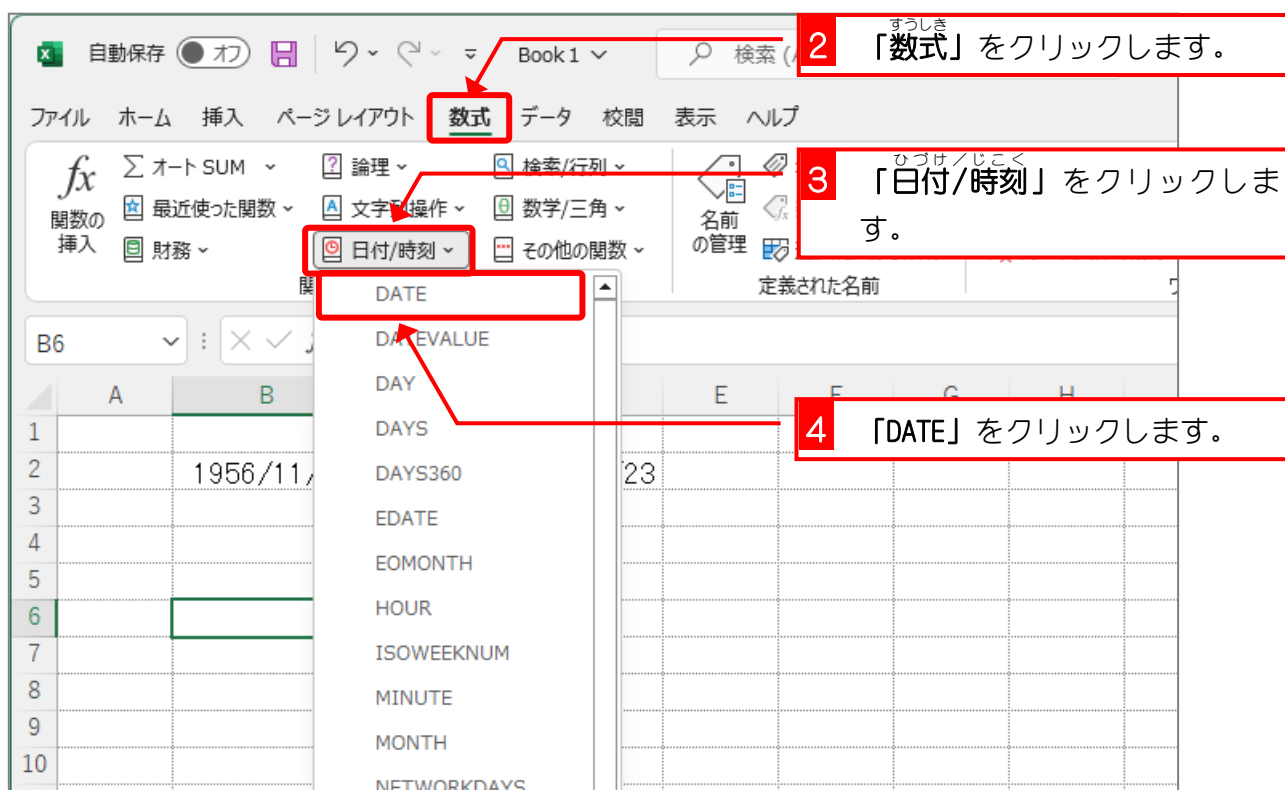
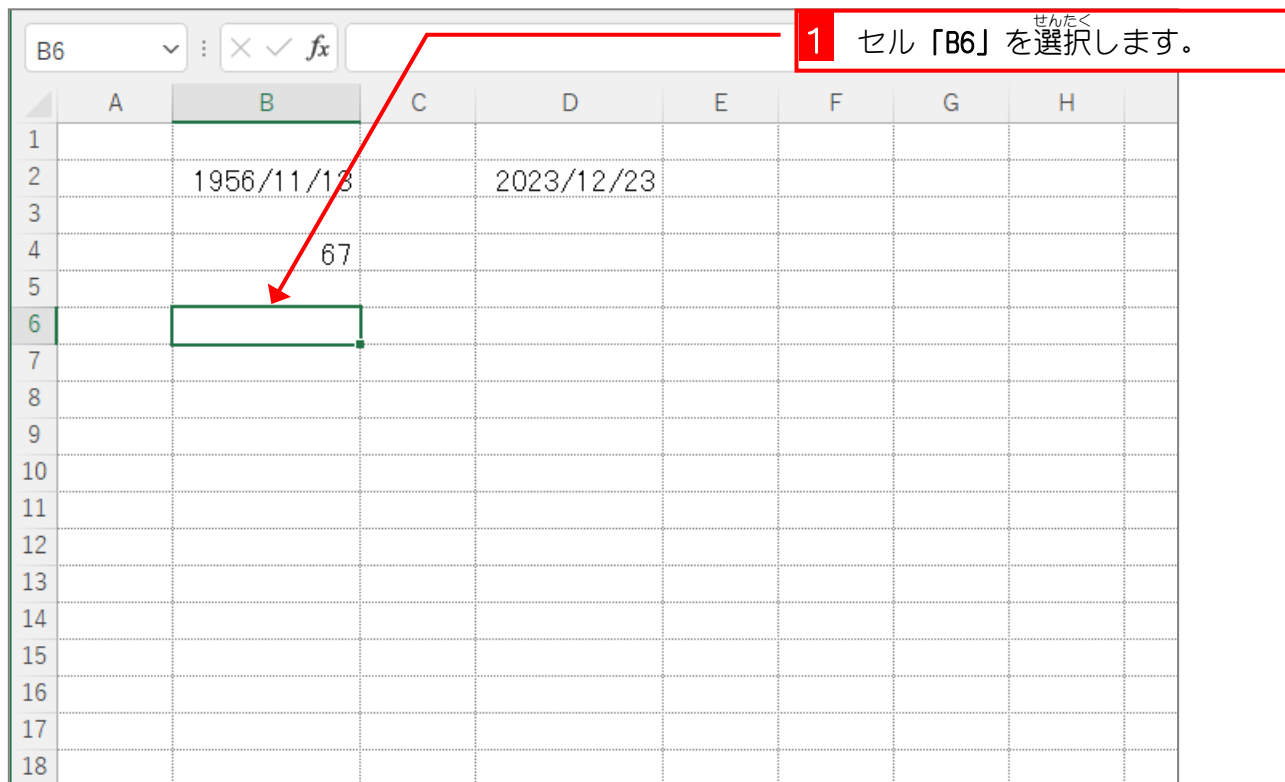


STEP 8. 翌月の1日の日付と末日の日付

1. セル「B2」の翌月の1日の日付を計算しましょう

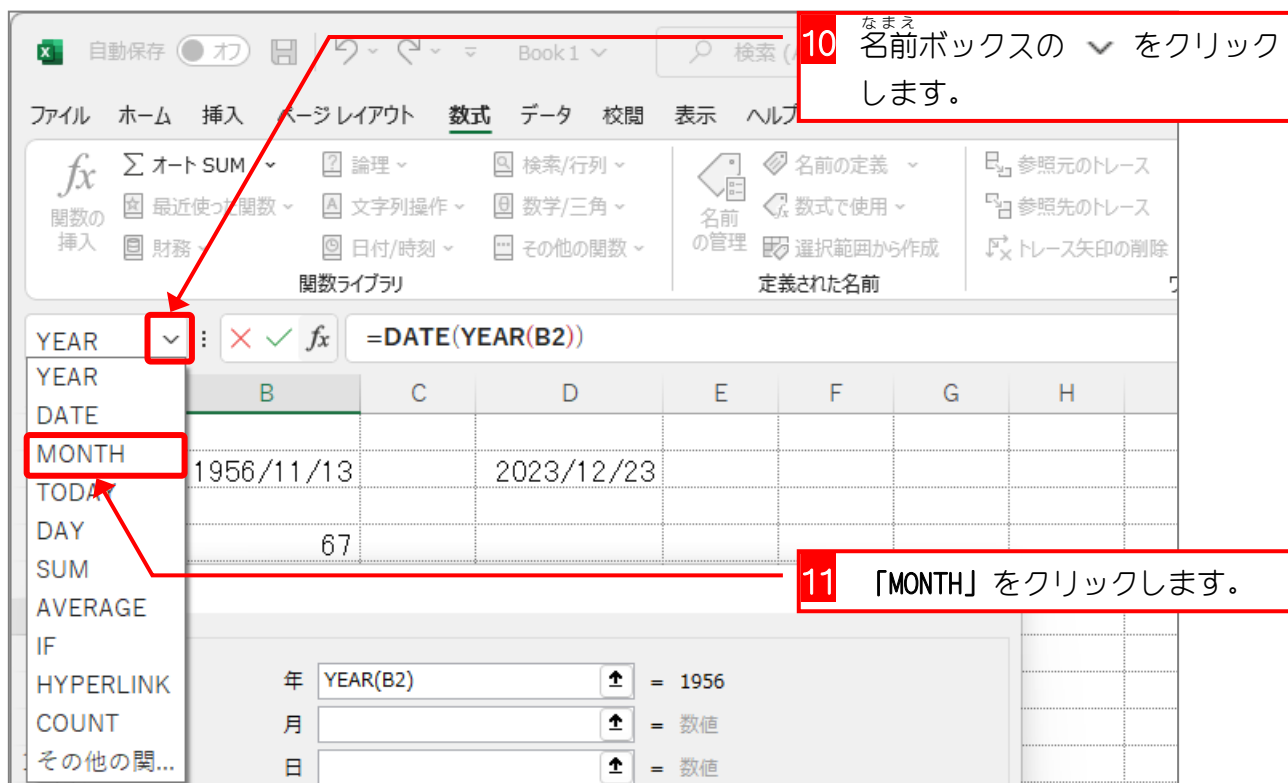
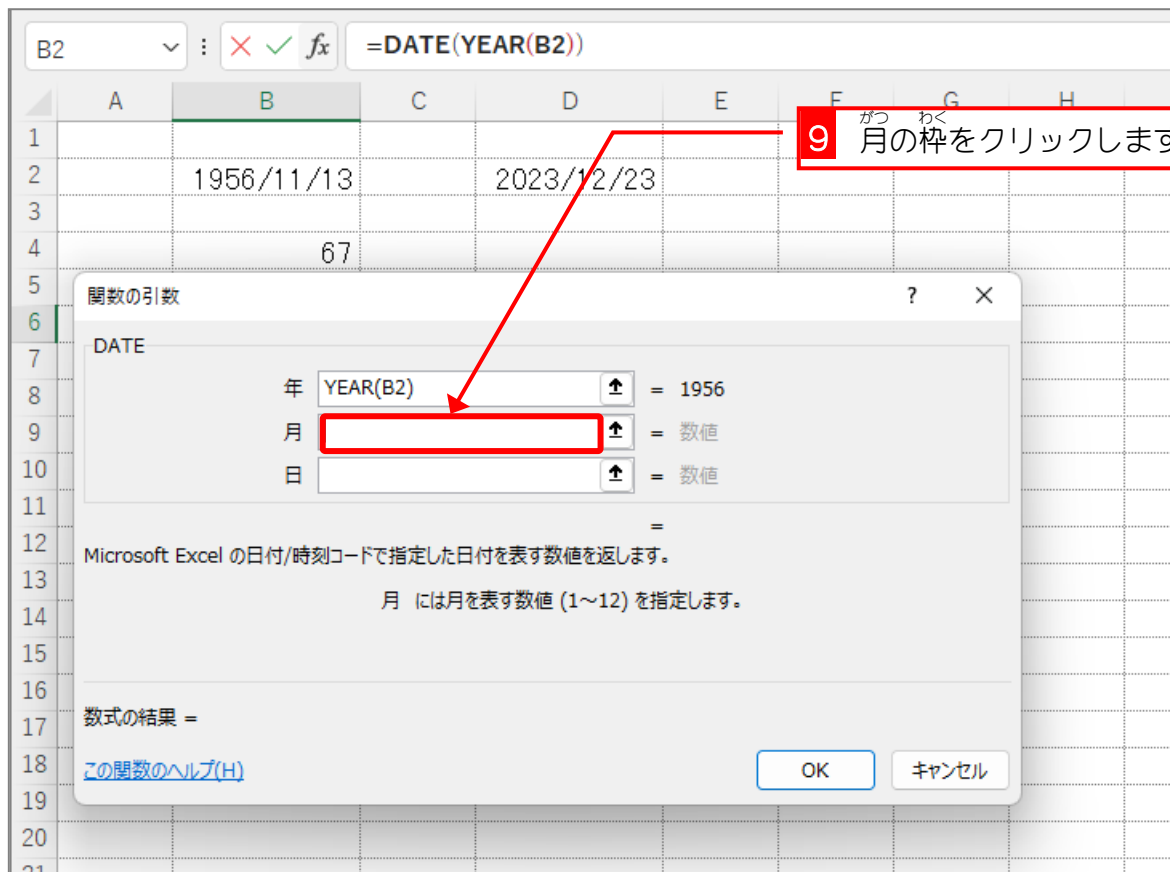


5 名前ボックスの ▾ をクリックします。

6 「YEAR」 をクリックします。

7 セル「B2」 をクリックします。

8 数式バーの「DATE」 をクリックします。



12 セル「B2」をクリックします。

13 数式バーの「DATE」をクリックします。

関数の引数

MONTH

シリアル値 B2 = 20772

= 11

月を 1 (1月) ~ 12 (12月) の範囲の整数で返します。

シリアル値 には Microsoft Excel で使用される日付/時刻コードを指定します。

数式の結果 =

[この関数のヘルプ\(H\)](#) OK キャンセル

14 「+1」を追加します。

15 「1」を入力します。

16 「OK」をクリックします。

関数の引数

DATE

年 YEAR(B2) = 1956

月 MONTH(B2)+1 = 12

日 1 = 1

= 20790

Microsoft Excel の日付/時刻コードで指定した日付を表す数値を返します。

日 には日を表す数値 (1 ~ 31) を指定します。

数式の結果 = 20790

[この関数のヘルプ\(H\)](#) OK キャンセル

MONTH(B2)+1
に変更します。

B6 : $\times \checkmark fx$ =DATE(YEAR(B2),MONTH(B2)+1,1)

	A	B	C	D	E	F	G	H
1								
2		1956/11/13		2023/12/23				
3								
4		67						
5								
6		1956/12/1						
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								

セル「B2」の翌月の1日の日付が表示されました。

よくげつ ついたち ひづけ ひょうじ
翌月の1日の日付を求める式

=DATE(YEAR(B2), MONTH(B2)+1, 1)

練習問題

- セル「D6」にセル「D2」の2ヶ月後の1日の日付を表示しましょう。

D6 : $\times \checkmark fx$ =DATE(YEAR(D2),MONTH(D2)+2,1)

	A	B	C	D	E	F	G	H
1								
2		1956/11/13		2023/12/23				
3								
4		67						
5								
6		1956/12/1		2024/2/1				
7								
8								
9								
10								
11								

関数の引数

DATE

年	YEAR(D2)	= 2023
月	MONTH(D2)+2	= 14
日	1	= 1

= 45323

Microsoft Excel の日付/時刻コードで指定した日付を表す数値を返します。

日 には日を表す数値 (1 ~ 31) を指定します。

2. セル「B2」の翌月の末日を計算しましょう

1 セル「B7」に
「=DATE(YEAR(B2), MONTH(B2)+2, 1)-1」と入力します。

2 「Enter」キーを押します。

`=DATE(YEAR(B2), MONTH(B2)+2, 1)-1`
2ヶ月後の1日の1日前という意味です

	A	B	C	D	E
1					
2		1956/11/13		2023/12/23	
3					
4		67			
5					
6		1956/12/1		2024/2/1	
7		=date(year(B2),month(B2)+2,1)-1			
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					

セル「B2」の翌月の末日の日付が表示されました。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1								
2		1956/11/13		2023/12/23				
3								
4		67						
5								
6		1956/12/1		2024/2/1				
7		1956/12/31						
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								

練習問題

- セル「D7」にセル「D2」の翌月の末日の日付を表示しましょう。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1								
2		1956/11/13		2023/12/23				
3								
4		67						
5								
6		1956/12/1		2024/2/1				
7		1956/12/31		2024/1/31				
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								

STEP 9. 万年カレンダーを作る

1. シートを用意しましょう

1 シートを新規作成し、シートのフォントを「MS Pゴシック」フォントサイズを「14」にします。

2 データを入力します。

3 列幅を変更します。

A列、F列	13.00 (109ピクセル)
B~E列、G~I列	6.00 (53ピクセル)

2. セル「A4」に DATE関数を使って、セル「C1」とセル「C2」で表す年月の1日の日付を表示しましょう

1 セル「A4」に「=DATE(C1,C2,1)」と入力します。

=DATE(C1,C2,1)

「C1」年「C2」月1日の日付を返します。

関数は関数ライブラリを使って入力してもかまいませんが、慣れれば直接入力するほうが簡単です。

2 「Enter」キーを押します。

3. セル「A5」にセル「A4」の日付の1日後の日付を表示する数式を入力しましょう

1 セル「A5」に「=A4+1」と入力します。

=A4+1
「A4」の日付の1日後の日付を計算します。

2 「Enter」キーを押します。

	A	B	C	D	E	F	G
1			2023 年				
2			1 月				
3							
4	2023/1/1						
5	=A4+1						
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							

4. セル「A5」をセル「A18」までコピーしましょう

1 セル「A5」をオートフィルでセル「A18」までコピーします。

	A	B	C	D	E	F	G
1			2023 年				
2			1 月				
3							
4	2023/1/1						
5	2023/1/2						
6	2023/1/3						
7	2023/1/4						
8	2023/1/5						
9	2023/1/6						
10	2023/1/7						
11	2023/1/8						
12	2023/1/9						
13	2023/1/10						
14	2023/1/11						
15	2023/1/12						
16	2023/1/13						
17	2023/1/14						
18	2023/1/15						
19							
20							

5. セル「F4」にセル「A18」の日付の1日後の日付を表示する数式を入力しましょう

1 セル「F4」に「=A18+1」と入力します。

=A18+1
「A18」の日付の1日後の日付を計算します。

2 「Enter」キーを押します。

6. セル「F5」にセル「F4」の日付の1日後の日付を表示する数式を入力しましょう

1 セル「F5」に「=F4+1」と入力します。

=F4+1
「F4」の日付の1日後の日付を計算します。

2 「Enter」キーを押します。